

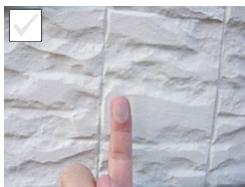
# お住まいが教えてくれる塗り替えのサイン

## 外壁の症状



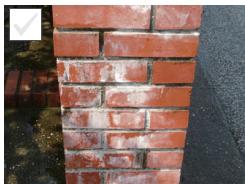
### ✓チェック Check! 01 汚れが目立つ

お住まいは経年で防水性能が落ち、水切れが悪くなってくるので、そこに汚れが付着しやすくなります。塗膜が傷みだした一つのサインです。塗り替えのサインです。



### ✓チェック Check! 03 チョーキングの発生(白亜化現象)

塗料が分離して粉化をする現象です。外壁を保護する塗料がなくなるため、外壁材自体の劣化を早めます。



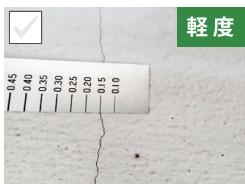
### ✓チェック Check! 05 エフロレッセンス(白華)

コンクリートやモルタルなどから、内部の水酸化カルシウムが雨などの水分により目地やクラックから流れだす現象です。防水効果が低下しているサインです。



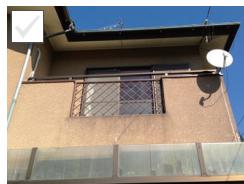
### ✓チェック Check! 07 外壁の浮き

施工時の釘の打ち損じや日当たりによる反りで外壁が浮く場合があります。放置すると外壁の割れ、浸水の恐れがあります。



### ✓チェック Check! 09 ひび(クラック)

サッシ近辺や外壁の継ぎ目等に発生します。上の写真はクラック幅 0.15mm で比較的軽度のクラックです。しかし下の写真のクラックは 0.40mm と、かなり大きなクラックです。これは構造クラックと呼ばれ、放置すると中に水が入り、雨漏りの可能性が出てきます。



### ✓チェック Check! 02 色褪せ

色褪せは紫外線による日焼けです。紫外線によるダメージで塗膜の表面が劣化し退色（変色）してしまうのが原因です。防水能力が低下しています。



### ✓チェック Check! 04 苔、藻、カビの発生

外壁に発生しているコケ・カビは内部に浸水している恐れがあります。内部からの場合、構造材を交換する必要性も出でてきます。



### ✓チェック Check! 06 目地コーティングの劣化

外壁材の継ぎ目に用いるコーティング剤が劣化すると亀裂箇所から建物内部に浸水する恐れがあります。水を吸った外壁は急速に脆くなります。



### ✓チェック Check! 08 金属部のサビ

金属はサビが発生します。最近のガルバリウムはサビが発生しにくい材料ですが傷などからサビの発生、腐食につながります。

## 屋根の症状



### ✓チェック Check! 10 苔、藻、カビの発生

屋根表面にコケや藻、カビなどが繁殖すると、水切れが悪くなっている状態となり、雨漏りなどの原因となります。屋根材自体も傷んでしまいます。



### ✓チェック Check! 11 既存塗膜の劣化

塗装が剥げると、放っておいた場合、ここを起点に塗装の剥離が広がっていくことになります。雨水が直に下地と接触することとなり、屋根材自体を痛める原因となります。早急の補修が必要です。

## 木部の症状



### ✓チェック Check! 12 木部の塗膜の膨れや剥がれ

塗装が剥げると、放っておいた場合、ここを起点に塗装の剥離が広がっていくことになります。雨水が直に下地と接触することとなり、屋根材自体を痛める原因となります。早急の補修が必要です。

## 金属部の症状



### ✓チェック Check! 13 塗膜の劣化によるサビ

金属はサビが発生します。金属にとつてサビは大敵で、そのままにすると中で腐っていくため、腐食につながります。

上記の症状が出たら外壁・屋根補修の目安となります。

街の外壁塗装やさんの無料点検をご活用下さい！